

P5-2



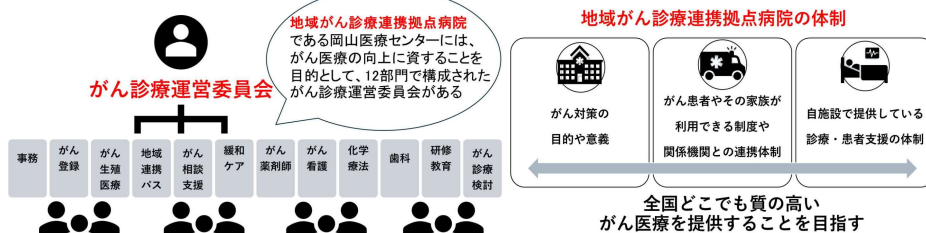
がん診療運営委員会による院内研修会 がん登録室の活動報告



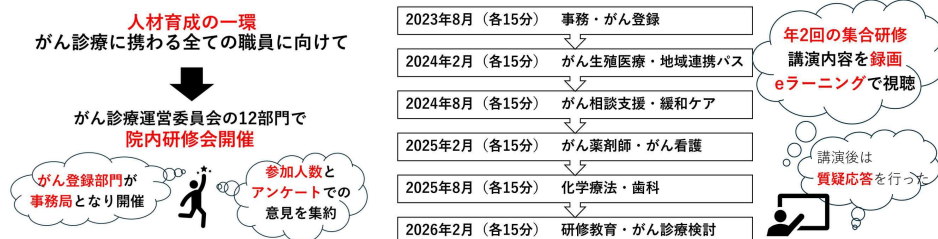
独立行政法人国立病院機構岡山医療センターがん登録室
清水 由里恵、戸村 悦子、藤原 慶一、市川 孝治

背景

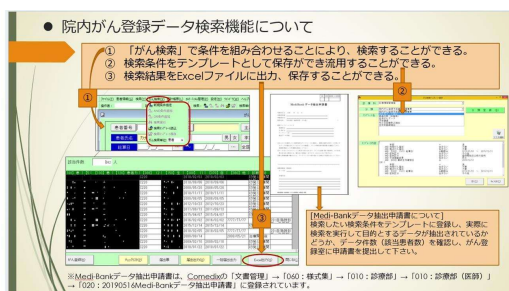
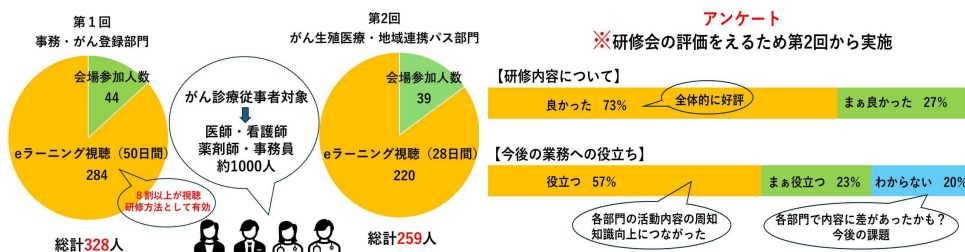
「地域がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」に新規指定要件として「自施設のがん診療従事者に年1回以上、がん医療について学ぶ機会を確保していること」が加わり、がん診療運営委員会でのような取組みをするか協議を行った。



目的・方法



結果



事務部門	地域がん診療連携拠点病院について
	●指定要件
	●今後取り組むべき要件
がん生殖	妊孕性温存の重要性について
医療部門	●妊孕性温存療法の概要
	●費用、妊孕性温存相談、紹介フロー
地域連携	地域連携クリニカルパスについて
バス部門	●フォローアップパス
	●かかりつけ医との連携数

がん登録部門では、がん登録室の紹介、目的、院内がん登録データの検索方法など、がん登録の利活用に繋がるよう情報発信をした。その他の部門は、活動内容や周知したいことをまとめた研修内容であった。

まとめ

院内研修会を開催することは、がん診療従事者の知識向上と、第4期がん対策推進基本計画にある、全体目標に向けての活動の一貫性を示す機会になったと考える。今後もがん医療の質向上に向けて意義のある院内研修会を開催していきたい。

「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」

第4期がん対策推進基本計画

